

# 日本学術会議 公開シンポジウム

## 「都市農業の再構築における 養液栽培と施設園芸の役割」

当日受付・入場無料

■日時：平成26年1月20日（月）  
13:00～17:30

■場所：日本学術会議 講堂  
（東京都港区六本木）

### ■開催趣旨

魅力ある都市構築のための空間緑化の推進、すなわち、近未来のアーバン・グリーンニングの提言が平成19年に農学基礎委員会農業と環境分科会で対外報告された。2050年までに世界人口は90億人に達し、その内の70%は都市に集中することが予想される。魅力的な都市の構築において都市の空間緑化の必要性はますます大きくなっている。また、日本では人口の4割が高齢者となり、都市での人口比率の増大が今後顕著になる。このような状況において人々の生活・人生の質（QOL）を維持向上させ、食料・エネルギー・環境問題を同時並行的に解決する方法のひとつとして、施設園芸の可能性を、特に都市農業で必須要素である養液栽培をはじめ、様々な視点から講演いただく。

都市への急激な人口集中や高齢化の波の中で、農業を如何に持続的な生産システムとして都市とその近郊に定着させ、人々のライフスタイルや文化に貢献し、農村とのバランスを取り地球規模での均衡を図って行くのか、そのイメージは曖昧で方向は多様かつ予測困難であるが故に近未来での養液栽培・施設園芸の可能性とともに実現化への諸課題について講演、議論したい。

### ■次第

- 13:00 開会挨拶  
大政 謙次（日本学術会議第二部会員、農学委員会農業生産環境工学分科会委員長、東京大学大学院農学生命科学研究科教授）
- 13:05 「対外報告(2007年):魅力ある都市構築のための空間緑化  
—近未来のアーバン・グリーンニング」を振り返って  
鈴木 義則（日本学術会議連携会員、九州大学名誉教授）
- 13:25 東京農業における施設園芸  
望月 龍也（東京都農林水産振興財団東京都農林総合研究センター所長）
- 13:55 都市における養液栽培の役割  
篠原 温（千葉大学名誉教授、日本施設園芸協会会長）
- 14:25 施設園芸におけるLCA  
椎名 武夫（農研機構食品総合研究所流通工学ユニット長）
- 14:55 高齢化と都市農業  
岸田 義典（日本学術会議連携会員、(株)新農林社代表取締役社長）
- 15:25 — 休憩 —
- 15:40 世界の都市に見る施設園芸の試み（アクアポニックの現状と展望）  
松田 誠司（AGCグリーンテック(株)海外営業部長）
- 16:10 再構築都市農業の未来像と課題  
古在 豊樹（日本学術会議連携会員、千葉大学名誉教授）
- 16:40 パネルディスカッション  
コーディネーター  
位田 晴久（日本学術会議連携会員、宮崎大学農学部教授）  
奥島 里美（日本学術会議連携会員、農研機構農村工学研究所上席研究員）  
パネリスト  
鈴木 義則（日本学術会議連携会員、九州大学名誉教授）  
望月 龍也（東京都農林総合研究センター）  
篠原 温（千葉大学名誉教授、日本施設園芸協会会長）  
椎名 武夫（食品総合研究所流通工学ユニット長）  
岸田 義典（日本学術会議連携会員、(株)新農林社代表取締役社長）  
松田 誠司（AGCグリーンテック(株)海外営業部長）  
古在 豊樹（日本学術会議連携会員、千葉大学名誉教授）
- 17:15 今後の展望—植物工場と施設園芸  
橋本 康（日本学術会議連携会員、愛媛大学名誉教授）
- 17:25 閉会挨拶  
野口 伸（日本学術会議第二部会員、食料科学委員会委員長、北海道大学大学院農学研究院教授）

主催：日本学術会議農業生産環境工学分科会

共催：農業施設学会、日本農業気象学会、園芸学会、生態工学会、日本生物環境工学会、日本養液栽培研究会、千葉大学環境健康フィールド科学センター、宮崎大学農学部、東京都農林総合研究センター、(株)新農林社、農研機構農村工学研究所

後援：日本施設園芸協会、九州大学農学研究院

連絡先：奥島里美 (Limi OKUSHIMA)

農研機構農村工学研究所 農地基盤工学研究領域 農業施設工学担当  
〒305-8609 茨城県つくば市観音台二丁目1-6  
Tel: 029-838-7594 E-mail: limi@affrc.go.jp

